

基礎看護学（基礎看護領域）

1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	2 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	1 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	0 人	

2 教員の異動状況

片山 はるみ 教授（H24 年 4 月 1 日（着任）～現職）

鈴木 美奈 助教（H23 年 7 月 1 日～現職）

山本 恵美子 助教（H18 年 4 月 1 日～H19 年 3 月 31 日 助手；H19 年 4 月 1 日～現職）

村松 妙子 教務補佐員（H20 年 9 月 1 日～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	2 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
1. Nakano K, Sato K, Katayama H, Miyashita M: Living with pleasure in daily life at the end of life, recommended care strategy for cancer patients from the perspective of physicians and nurses, Palliative & Supportive Care 11(1), 1-9, 2012.

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. Katayama H, Suzue T, Okada M, Fujikawa A, Hirao T: Relationship between Emotional Labor and Job Stress Response among Hospital Nurses in Japan, American Public Health Association, 2012.
<https://apha.confex.com/apha/140am/webprogram/Paper256265.html>
 2. Yamamoto E, Katayama H, Suzuki M, Muramatsu T: Actual Situation of Post-Graduation Medical Safety Education and Adaptation of Novice Nurses to Clinical Works, The 16th East Asian Forum of Nursing Scholars, 271, 2013.
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-2) レター

(3) 総 説

(4) 著 書

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 24 年度
(1) 文部科学省科学研究費	1 件 (30 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件 (0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件 (0 万円)
(4) 財団助成金	0 件 (0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件 (0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件 (0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

山本 恵美子（代表者）若手研究 (B) 卒前・卒後一貫した医療安全教育モデルの構築 メタ認知能力育成への早期暴露に向けて 30 万円（継続）

(2) 厚生労働科学研究費

- (3) 他政府機関による研究助成
- (4) 財団助成金
- (5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	1 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	0 件
(6) 一般演題発表数	2 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

- 1. Katayama H, Suzue T, Okada M, Fujikawa A, Hirao T, Relationship between Emotional Labor and Job Stress Response among Hospital Nurses in Japan. The 114th American Public Health Association, 2012, San Francisco.
- 2. Yamamoto E, Katayama H, Suzuki M, Muramatsu T, Actual Situation of Post-Graduation Medical Safety Education and Adaptation of Novice Nurses to Clinical Works, The 16th East Asian Forum of Nursing Scholars, 271, 2013, Thailand.

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表
- 4) 座長をした学会名

日本描画テスト・描画療法学会第 22 回大会 一般口演 座長 片山はるみ

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

日本描画テスト・描画療法学会 理事 片山はるみ

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリース数は除く）	0件	0件

- (1) 国内の英文雑誌等の編集
- (2) 外国の学術雑誌の編集
- (3) 国内外の英文雑誌のレフリース

9 共同研究の実施状況

	平成24年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	1件
(3) 学内共同研究	4件

- (1) 国際共同研究
- (2) 国内共同研究
 - 1. 片山はるみ 平成24年度香川県産業保健推進センター研究事業 職場におけるメンタルヘルス向上のための調査研究（研究代表者：香川県産業保健推進センター所長 森下立昭）
- (3) 学内共同研究
 - 1. 山本恵美子 若手研究(B) 卒前・卒後一貫した医療安全教育モデルの構築 メタ認知能力育成への早期暴露に向けて
 - 2. 片山はるみ 平成24年プロジェクト研究（看護学科対象）「死のイメージ画」を用いた看護学生の死生観教育の効果
 - 3. 鈴木美奈 平成24年度若手研究プロジェクト バイオフィルム形成によるカテーテル関連感染予防の基礎的検討
 - 4. 山本恵美子 平成24年プロジェクト研究（看護学科対象）卒前・卒後の一貫した医療安全教育のジョイントプログラム開発の検討～輸液ポンプを使用した静脈持続注射のアラーム対応における対処行動に関する調査～

10 産学共同研究

	平成24年度
産学共同研究	0件

11 受賞

- (1) 国際的な授賞
- (2) 外国からの授与
- (3) 国内での授賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

- 13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発
- 14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性
- 15 新聞, 雑誌等による報道